



遠賀川の魚類

遠賀川水系では現在、オイカワ、ギンブナなど、120種類の魚類が確認されています。おもな魚類について分布を示しています。

凡 例	
保 存	: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種
国 R L	: 「環境省レッドリスト2019 一報発表資料 環境省レッドリスト2019の公表について」(環境省、平成31年)の掲載種
県 R D B	: 「福岡県の希少野生生物 一福岡県レッドデータブック2014(改訂版)」(福岡県、平成26年)の掲載種
特定外来生物	: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の特定外来生物
国 R L・県 R D B の絶滅危惧種カテゴリー	
危 惧	: 絶滅危惧 (CR+EN+VU)
危 惧 I	: 絶滅危惧I類 (CR+EN)
危惧 IA	: 絶滅危惧IA類 (CR)
危惧 IB	: 絶滅危惧IB類 (EN)
危 惧 II	: 絶滅危惧II類 (VU)
準 危 惧	: 準絶滅危惧 (NT)
不 足	: 情報不足 (DD)
個 体 群	: 絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)

貴重な魚類

アカザ(アカザ科) 国RL: 危惧II、県RDB: 危惧II	オヤニラミ(スズキ科) 国RL: 危惧IB、県RDB: 準危惧	ニッポンバラタナゴ(コイ科) 国RL: 危惧IA、県RDB: 危惧IB	オンガスジマドジョウ(ドジョウ科) 国RL: 危惧IB、県RDB: 危惧IB
水のきれいな川の上流から中流にすんでいて、屋間は石の下に隠れています。	岸辺にヨシなどの草がはえている所になわばりをつくってすんでいます。	流れのおだやかな、水際植物(水草など)がある砂泥底や泥底にすんでいます。卵は二枚貝の中にうみます。	遠賀川特有のドジョウで、川の中流から下流の、流れのおだやかな砂泥底にすんでいます。



オイカワ(コイ科)
遠賀川でもっともふつうに見られる魚です。初夏のオスは美しい緑青色と赤色で彩られます。

ギンブナ(コイ科)
日本全国どこにいてもみられるもっとも一般的な魚です。オスが少なくほとんどがメスです。

カワヨシノボリ(ハゼ科)
おなかに吸盤をもった魚で、遠賀川にはヨシノボリの仲間が何種類かいます。

ヤマメ
夏でも水温が20度をこえないような溪流にすんでいて、流れてくる昆虫類などを食べています。

アユ(アユ科)
八木山川漁協が放流を行っています。川の中の石についたコケを食べて成長します。

外 来 魚 類			
オオクチバス(ブラックバス) (サンフィッシュ科) 特定外来生物	ブルーギル (サンフィッシュ科) 特定外来生物	ハス (コイ科) 国内外来種	ゲンゴロウブナ (コイ科) 国内外来種
中~下流の流れのおだやかな所にすんでいます。肉食性で、ルーアー釣りがさかんです。	中~下流の流れのおだやかな所にすんでいます。雑食性で、さまざまなものを食べます。	中~下流に広くすんでいます。コイ科では珍しい肉食性で、もともとは琵琶湖や淀川、三方湖にのみすんでいました。	下流の流れのおだやかな所にすんでいます。ギンブナよりも体高が高いのが特徴で、琵琶湖にのみすんでいました。